

令和7年度

決 算 報 告 書

第22期事業年度（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

国立大学法人三重大学

令和7年度 決算報告書

国立大学法人三重大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	10,676	11,500	824	(注1)
施設整備費補助金	1,259	1,262	3	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
施設整備資金貸付金償還時補助金	-	-	-	
補助金等収入	1,105	2,509	1,404	(注3)(注4)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	10	10	0	
自己収入	36,619	36,856	237	
授業料、入学料及び検定料収入	4,053	3,745	△ 308	(注5)
附属病院収入	32,249	32,499	250	(注6)
財産処分収入	0	0	0	
雑収入	317	612	295	(注7)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	3,500	4,061	561	(注8)
引当金取崩	-	51	51	
長期借入金	1,368	1,316	△ 52	(注9)
貸付回収金	-	-	-	
承継剰余金	-	-	-	
目的積立金取崩	0	540	540	(注10)
引当特定資産取崩	0	553	553	(注11)
計	54,537	58,658	4,121	
支出				
業務費	45,532	46,289	757	
教育研究経費	13,832	13,719	△ 113	(注12)
診療経費	31,700	32,570	870	(注13)
施設整備費	2,637	1,607	△ 1,030	(注14)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	904	1,787	883	(注15)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	3,500	3,506	6	(注16)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	1,964	1,958	△ 6	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	-	-	
計	54,537	55,147	610	
収入－支出	-	3,511	3,511	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階での見積もりより、教育・研究基盤維持経費及び退職手当の追加交付等のため、予算金額に比して決算金額が824百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、予算段階では予定していなかった補助金の受け取り増により、予算金額に比して決算金額が3百万円多額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった補助金の受け取り増等により、予算金額に比して決算金額が1,404百万円多額となっています。
- (注4) 補助金等収入には、授業料等減免交付金が707百万円含まれており、本補助金は授業料免除に使用しています。
- (注5) 授業料、入学料及び検定料収入については、予算段階での見積もりより入学料及び授業料免除者が増加したこと等により、予算金額に比して決算金額が308百万円少額となっています。
- (注6) 附属病院収入については、病床稼働率の向上等により、予算金額に比して決算金額が250百万円多額となっています。
- (注7) 雑収入については、主として農場収入やライセンス料収入の受取増等により、予算金額に比して決算金額が295百万円多額となっています。
- (注8) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究等の獲得増により、予算金額に比して決算金額が561百万円多額となっています。
- (注9) 長期借入金については、事業計画を見直したことにより、予算金額に比して決算金額が52百万円少額となっています。
- (注10) 目的積立金取崩については、事業計画を見直したことにより、予算金額に比して決算金額が、540百万円多額となっています。
- (注11) 引当特定資産取崩については、事業計画を見直したことにより、予算金額に比して決算金額が、553百万円多額となっています。
- (注12) 教育研究経費については、執行計画を見直したことにより、予算金額に比して決算金額が113百万円少額となっています。
- (注13) 診療経費については、執行計画を見直したことにより、予算金額に比して決算金額が、870百万円多額となっています。
- (注14) 施設整備費については、契約済工事において工期の遅延が発生し、それに伴い完成払いの時期が翌年度以降にずれ込んだこと等により、予算金額に比して決算金額が1,030百万円少額となっています。
- (注15) 補助金等については、(注3)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が883百万円多額となっています。
- (注16) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注8)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が6百万円多額となっています。